

【休眠預金事業等活用事業】

2021年度(通常枠) 草の根活動支援助成(全国)
実行団体公募要領 説明会

HUN LOCAL COMMUNITY FUND UNION

(東近江・雲南・南砺ローカルコミュニティファンド連合)

構成団体

公益財団法人南砺幸せ未来基金

公益財団法人うんなんコミュニティ財団

公益財団法人東近江三方よし基金

私たちについて

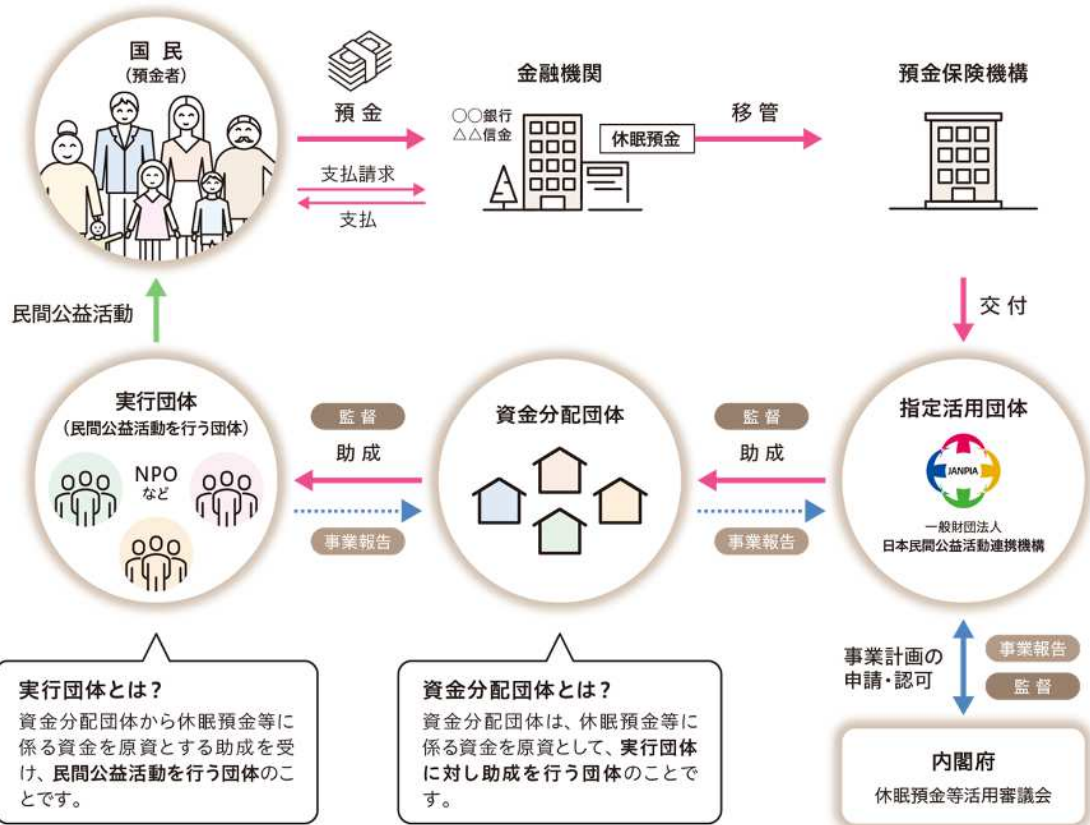
■ HUN LOCAL COMMUNITY FUND UNION

(東近江・雲南・南砺ローカルコミュニティファンド連合)

構成団体: 公益財団法人南砺幸せ未来基金
公益財団法人うんなんコミュニティ財団
公益財団法人東近江三方よし基金

同じ志を持つ
市域レベルの
コミュニティ
財団

休眠預金等活用事業とは



「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」

(休眠預金等活用法)に基づき、

2009年1月1日以降の取引から10年以上その後の取引のない預金等(休眠預金等)

社会課題の解決や、民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。

優先的に解決すべき社会課題

要領 P.7

1. 子ども及び若者の支援に係る活動

- ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
- ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

2. 日常生活または社会生活を営む上での困難を有する者の支援に関する活動

- ④ 働くことが困難な人への支援
- ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援

3. 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

- ⑥ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

重視すること

- 財源（休眠預金）の特性（国民の資産）から以下の3点が重視されています。
 - ① 国民、ステークホルダー（多様な関係者）への**事業の透明性**や説明責任
 - ② 事業の成果の可視化⇒**社会的インパクト評価**の実施
 - ③ 民間公益活動を担う組織の能力強化を目的とした伴走支援（プログラム・オフィサーの確保と育成など）

実行団体の役割

要領 P.6

事業の実施により、社会の諸課題を解決するだけでなく、課題を可視化するとともに現場のニーズ等を資金分配団体等にフィードバックし、本制度の改善につなげていく役割を期待しています。

- ① 公的制度のいわゆる「狭間」に位置している具体的な諸課題を抽出し、可視化する。
- ② 休眠預金等に係る資金を効果的・効率的に活用し、社会の諸課題の解決に向けた取り組みを推進する。
- ③ 複雑化・高度化した社会の諸課題を解決するための革新的な手法の開発、実践。
- ④ 自ら行う民間公的活動の成果評価を実施する。
- ⑤ 現場のニーズや提案、事業成果をフィードバックすることで、本制度の改善につなげる。

実行団体への助成事業の概要

要領 P.8

採択事業名	社会的困難者を支えるローカルアクション
事業種別	草の根活動 支援事業
事業期間	2022年4月～2025年2月（最長3年間）
採択予定実行団体数	10～13団体程度
総事業費	2億2034万5千円
1団体当たりの助成額 (上限および目安)	南砺市:500～2,000万円、雲南市:500～1,500万円 東近江市:500～2,000万円
公募期間	2022年1月31日(月)まで

実行団体への助成事業の概要

要領 P.8

対象となる
実行団体

様々なライフステージの社会的困難者
(日常の暮らしの中で生きづらさを感じる人たち)を
地域へつなぐことを支援する団体。

※「生きづらさを感じる人」とは、例えば次のような方を想定しています。

不登校の児童生徒、孤立する産前産後の女性、移動困難者、認知症の人、発達障害者、経済的困窮者、引きこもりの人、難病のある人、コミュニケーション・生活等に困っている外国人、地域に希望を失っている人(後継者不足に悩む農林業者等)

実行団体へ期待する活動

要領 P.8

5～10年後程度の目指す地域像（中長期アウトカム）

様々なライフステージの日常の暮らしの中で生きづらさを感じる社会的困難者を支援し、地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超え、ヒト・モノ・情報・志金をつなげることで、社会的困難者をはじめとした住民一人ひとりの暮らしを支える状態。

誰もが他人のことを自分ごとに思い支え合い安心して暮らせる持続可能な全世代型地域共生社会の実現を目指す。

助成終了時のゴール・成果（およそ3年後）

- 1) 社会的困難者をつながるための多様なアクセス環境の整備
- 2) 社会的困難者をつながり続けるための多様なサポート体制づくり
- 3) 社会的困難者が地域内外の関係者と広くつながり始めている

申請に必要な書類（1/2）

要領 P.10

＜申請様式＞ 申請に必要な様式は、以下の様式1から様式8があります。

(様式1) 助成申請書

(様式2) 団体情報

(様式3) 資金計画書

(様式4) 役員名簿

(様式5) ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書

(様式6) 自己資金に関する申請書

(様式7) 申請書類チェックリスト

(様式8) 事業計画書

申請に必要な書類 (2/2)

要領 P.10

<団体情報に関する書類>

- 定款 (定款の作成義務がなく、定款を作成していない場合には設立趣意書等団体の目的がわかるもの)
- 登記事項証明書 (登記していない場合には団体成立の年月日、役員 の就任の年月日、商号・正式名称、本店・本部所在地などがわかるもの)
発行日から3か月以内の現在事項全部証明書の写し
- 事業報告書(過去3年分)
※設立から3年未満の団体においては、提出可能な期間分について提出

<決算報告書類 (過去3年分) >

- 貸借対照表
- 損益計算書 (活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)
- 監事及び会計監査人による監査報告書
※設立から3年未満の団体においては、提出可能な期間分について提出してください。
※監事及び会計監査人による監査報告書は監査を受けている場合は提出してください。

実行団体への助成金について

要領 P.7

■ 総事業費の概念図 (A+B+C)

A:助成額 (A+Bを100%とした場合80%以下となります)

直接事業費

Aに対して85%以上

管理的経費

Aに対して15%以下

B:自己資金や民間資金など (A+Bを100%とした場合20%以上となります)

C:評価関連経費 (助成額「A」の5%以下)

● 直接事業費

● 管理的経費

- 実行団体による民間公益活動の実施に直接係る活動経費のうち、支出に係る証拠書類を提出することが可能な費用です。
- 例：謝金、旅費交通費、会議費、会場借料、借料損料、印刷製本費、通信運搬費、広告宣伝費、消耗品費、施設改修費、機器購入費、委託費、人件費（当該事業に従事する業務従事者の給与）など
- 助成額の**85%以上**としてください。

- 役職員の人件費等や管理部門などの**管理的経費、事務所の家賃等**に要する経費で、当該業務に要する経費として特定することが難しいものの、一定の負担が生じている経費、又活動を実施するための調査費等です。
- 助成額の**最大15%**とします。
- 申請事業の経費として特定することが困難な費用については、他事業と按分して、算出根拠を明らかにしてください。

選定の流れ

要領 P.13

■ 実行団体選定の流れ



選定基準

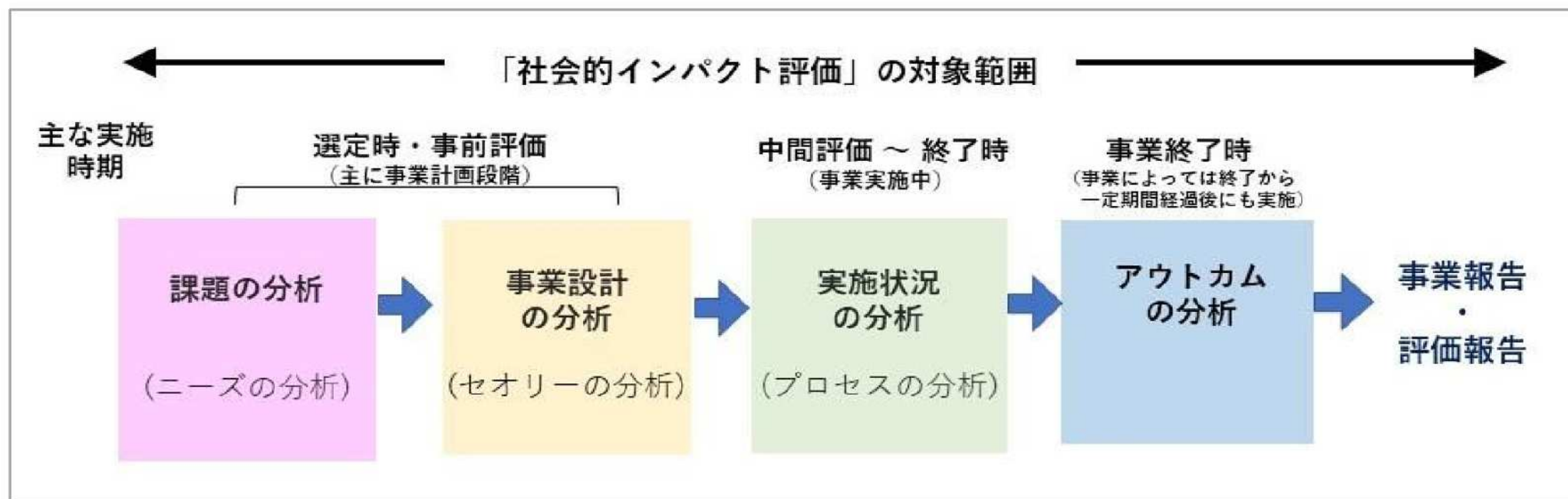
要領 P.13

ガバナンス・コンプライアンス	事業計画書に示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	社会状況や課題の問題構造の把握が十分に行われており、資金分配団体が設定した課題に対して妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

事業評価【社会的インパクト評価】

要領 P.17

- 「資金分配団体・実行団体に向けての評価指針」(2020年7月改定)に基づき、評価の客観性や正当性を確保する前提のもと、**社会的インパクト評価**を行っていただきます。評価の主体は、評価の客観性や正当性を確保するという前提の下、**自己評価を基本**とします。
- 実行団体において評価の実務経験が少ないなど、必要な場合には、各実行団体の自己評価を伴走支援します。



申請の手続き

要領 P.9

■ **公募期間** 2021年11月29日～2022年1月31日17時まで

■ **申請方法**

公募期間中に申請に必要な書類をメールにより提出してください。

E-mail: nantokikin@gmail.com

お問合せ先

公益財団法人南砺幸せ未来基金

住所: 南砺市山見1739番地2井波コミュニティプラザアスモ2F

電話: 0763-23-5018 (なんと未来支援センター内)

Email: nantokikin@gmail.com 担当: 浦井、藤田

お問い合わせ先

公益財団法人南砺幸せ未来基金

住所: 富山県南砺市山見1739番地2井波コミュニティプラザアスモ2F

電話: 0763-23-5018 (なんと未来支援センター内)

Email: nantokikin@gmail.com

担当: 浦井、藤田